学校番号	1008

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	（学）総合 クラフトデザイン	単位数	２単位	年次	２，３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・陶芸や木工などの分野について、基本的な内容を学習します。
・基本的な技術を学ぶとともに、一人ひとり違う感じ方、考え方も大切にしながら、創造的な表現の喜びを味わいましょう。
・他の人の作品や、作家の優れた作品なども鑑賞しながら、自分の見方だけではなく、他の人の見方も知ることで、美術に対する理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

陶芸や木工などの活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

【知識及び技能】
　陶芸や木工の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　生涯にわたり陶芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・陶芸や木工作品などの表現の工夫や造形の技法や様式などの理解を深めている。 ・創造的な陶芸や木工などの制作をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。	陶芸や木工作品の美しさ、装飾や技法と創意工夫、目的や用途について考えるとともに思いや願いなどから発想や構想を練ったり、陶芸や木工の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	多様な表現方法を経験することにより、陶芸や木工などの創造活動の喜びを味わい、陶芸や木工に関心を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	陶芸 〔陶芸の基礎〕 焼き物ができるまで 土の扱い方の基礎練習 〔器〕 たまつくり技法での器の制作 〔陶箱〕 アイデアスケッチ くりぬきの技法 下絵の具の装飾 陶箱の制作 〔作品レポート〕 鑑賞、レポート作成	a:陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表している。 b:生活を豊かに演出する器や陶箱をイメージし、使う人や場所などに求められる機能と美しさの調和を考え制作の構想を練っている。 c:主体的に社会的な視点に立って使う人や場所から生活を豊かに演出する表現の創造活動に取り組もうとしている	・作品 ・基礎練習課題 ・アイデアスケッチ	・作品 ・制作途中の作品	・制作の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品レポート
二学期	木工 〔木工の基礎〕 木材について 手工具と工作機械 木材加工の基礎練習 〔木材の加工〕 手工具での木材カット 工作機械での穴あけ 手工具での接合 研磨 着色 〔生活用日〕 アイデアスケッチ 切断、加工 研磨 塗装 〔作品レポート〕 鑑賞、レポート作成	a:木材の加工方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表している。 b:生活を豊かに演出するパズルや生活用品をイメージし、使う人や場所などに求められる機能と美しさの調和を考え制作の構想を練っている。 c: 主体的に社会的な視点に立って使う人や場所から生活を豊かに演出する表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・基礎練習課題 ・アイデアスケッチ	・作品 ・制作途中の作品	・制作の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・作品レポート

三学期	〔自由制作〕 アイデアスケッチ 制作 プレゼンテーション	a:自由制作について関心を持ち意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表している。 b:授業で身につけたことを制作に取り入れ、構想を練っている。 c:自分で計画を立て、創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・アイデアスケッチ	・作品 ・制作途中の作品	・制作の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度